

現状と課題	検討すべき論点
① 高齢者向け住まいの供給目標について	
<ul style="list-style-type: none"> ○平成25年時点で約62万戸が供給され、高齢者人口に占める割合は約1.9%など、政府目標の達成に向けて概ね順調に推移。 ○今後、高齢者の増加と医療・介護施設等の不足が見込まれる中で、要介護度の高い高齢者等の居住の安定確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、どの程度の高齢者向け住まいを供給すべきか。 ○要介護度や世帯類型など、対象とすべき世帯はどの範囲か。 ○対象とする世帯に応じて、どのような住まいを供給すべきか。
② 高齢者向け住まいの質の確保に向けた方策について	
<ul style="list-style-type: none"> ○状況把握サービス等に係る必要な質を確保できていない事業者が存在するという懸念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登録基準の遵守徹底等に向け、自治体による指導監督の強化など、どの様な取組が必要か。
③ 高齢者向け住まいと医療・介護との連携のあり方について	
<ul style="list-style-type: none"> ○医療・介護との連携が図られていない住宅も存在しており、要介護度の高い高齢者の入居や入居者の将来の医療・介護ニーズに対応できないおそれ。 ○困り込みにより、過剰な医療・介護サービスが提供されるおそれ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○入居者のニーズに対応するためには、どのように医療・介護と連携すべきか。 ○適切なサービスの提供に向けて、評価や情報提供の充実など、どのような取組が必要か。
④ 低所得・低資産高齢者の住まいと生活支援のあり方について	
<ul style="list-style-type: none"> ○低所得等の高齢者は、入居等に必要な費用の負担ができないおそれ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○低所得・低資産の高齢者が入居できるよう、どのような住まいの供給や生活支援に係る取組が必要か。
⑤ 高齢者等が安心して健康に暮らすことができる地域コミュニティの整備について	
<ul style="list-style-type: none"> ○スマート・ウェルネス・コミュニティ(SWC)や「生涯活躍のまち構想」の実現に向けた取組・検討が実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SWCや「生涯活躍のまち構想」等の実現に向けて、どのような取組が必要か。